

3. 平成27年度事業報告

事業名	実施事業の概要															
<p>1 地域の国際交流と多文化共生推進事業</p> <p>(1) 地域の国際交流推進</p>	<p>ア 多言語情報発信</p> <p>① ホームページの運営</p> <p>財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語版）を運営した。</p> <p>財団ホームページアドレス http://www.torisakvu.or.jp/</p> <p>訪問数 32,165（月平均 2,680）</p> <p>ユーザー数 17,974（月平均 1,498）</p> <p>② 多言語メールマガジンの配信</p> <p>国際交流イベントなどの情報を速報性をもって読者に提供するためのメールマガジンを配信した。（TIM：191号～205号 計15号を配信）</p> <p>外国語版（英語・中国語・タガログ語）については携帯電話向けメールマガジンとして配信した。（TORIMO：114号～138号 計25号を配信）うち、日頃から防災に備える意識づけや社会生活を送るうえでの重要な情報を「防災 TORIMO」として12号配信した。</p> <p><配信登録者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TIM（PC向け日本語版）登録者数 550名 ・TORIMO（携帯電話向け外国語版）登録者数 英語版 1,064名、中国語版 1,069名、タガログ語版 1,003名 計 3,136名 <p>③ 機関紙の発行</p> <p>財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第114号～117号を発行した。（A4・一部カラー刷り 一部記事については英語・中国語表記 各2,000部）。</p> <p>イ ボランティア活動の推進と活性化</p> <p>① ボランティア登録制度の運営</p> <p>通訳、翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ、ホームビジット、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="563 1615 1345 2056"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>登録者数</th> <th>主な活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通訳・翻訳</td> <td>252名</td> <td>・財団主催事業（防災セミナー、オリエンテーション、子どものための異文化理解体験講座ほか） ・大型クルーズ船乗船客対応、香港EGLツアーズ空港出入国手続き対応 ・グラウンドゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2015 ほか</td> </tr> <tr> <td>日本語教育</td> <td>463名</td> <td>・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか (2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲</td> </tr> <tr> <td>交流活動</td> <td>370名</td> <td>・財団主催事業（国際交流フェスティバル、米国バーモント州との青少年交流促進事業ほか） ・公民館等地域の国際交流事業講師（料理教室講師、新聞及びケーブルテレビインタビューほか）</td> </tr> <tr> <td>ホームステイ等</td> <td>133家庭</td> <td>②ホームステイ活性化プログラムに別掲</td> </tr> </tbody> </table>	区分	登録者数	主な活動内容	通訳・翻訳	252名	・財団主催事業（防災セミナー、オリエンテーション、子どものための異文化理解体験講座ほか） ・大型クルーズ船乗船客対応、香港EGLツアーズ空港出入国手続き対応 ・グラウンドゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2015 ほか	日本語教育	463名	・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか (2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲	交流活動	370名	・財団主催事業（国際交流フェスティバル、米国バーモント州との青少年交流促進事業ほか） ・公民館等地域の国際交流事業講師（料理教室講師、新聞及びケーブルテレビインタビューほか）	ホームステイ等	133家庭	②ホームステイ活性化プログラムに別掲
区分	登録者数	主な活動内容														
通訳・翻訳	252名	・財団主催事業（防災セミナー、オリエンテーション、子どものための異文化理解体験講座ほか） ・大型クルーズ船乗船客対応、香港EGLツアーズ空港出入国手続き対応 ・グラウンドゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2015 ほか														
日本語教育	463名	・日本語クラスパートナー、プライベートレッスンボランティアほか (2)ア ③日本語クラス等の運営に別掲														
交流活動	370名	・財団主催事業（国際交流フェスティバル、米国バーモント州との青少年交流促進事業ほか） ・公民館等地域の国際交流事業講師（料理教室講師、新聞及びケーブルテレビインタビューほか）														
ホームステイ等	133家庭	②ホームステイ活性化プログラムに別掲														

② ホームステイ活性化プログラムの実施

財団主催事業及び民間団体等が実施するホームステイ受入事業との連携、また長期滞在中の外国出身者の希望に応じて、ホームステイを通じた地域における国際理解の一層の促進を図った。受入家庭には安心して活動できるよう保険加入手続きや一部活動費を支援した。

- ・タイ王国鳥取県スマイルサポーター育成事業
- ・鳥取大学「グローバル化社会における多文化共生のための協働力育成プログラム」
- ・内閣府「日本・韓国青年親善交流事業」（とっとり青友会）
- ・公立鳥取環境大学「ユニテック工科大学学生交流プログラム」
- ・ロシア極東地域鳥取県サポーター育成事業
- ・米国バーモント州との青少年交流促進事業（財団主催）
- ・留学生等ホストファミリー（里親制度）（財団主催）

③ 団体等との連携

i) 連絡調整

県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び市町村担当者と、地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくため、鳥取県との共催による意見交換のための連絡会議を行うとともに、鳥取大学・鳥取市国際交流プラザと連携して来日間もない留学生を対象にしたオリエンテーションを実施した。また、先進的な取り組みを学び財団の事業に反映させていくため、地域国際化協会連絡協議会等における研修や意見交換の場に参加した。

<国際交流・協力団体連絡会議の開催>

民間団体同士、また市町村との協力関係の構築に有益な機会となった。

【東部地区】平成27年7月7日（火） 14:00～16:00

とりぎん文化会館第2会議室

参加団体：15団体3市町（19名）

【中部地区】平成27年7月2日（木） 14:00～16:00

中部総合事務所1号館B棟202会議室

参加団体：11団体4市町（19名）

【西部地区】平成27年7月9日（木）14:00～16:00

米子コンベンションセンター第5会議室

参加団体：15団体1市（21名）

<留学生オリエンテーション>

第1回（4月入学期） 平成27年4月4日（土）

第2回（10月入学期） 平成27年10月3日（土）

<地域国際化協会連絡協議会中国・四国ブロック会議>

中国・四国地方の地域国際化協会、(一財)自治体国際化協会が一堂に会し、それぞれが抱える共通の課題等について意見交換を行うとともに、大規模広域災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書を実効性のあるものにするために研修会を実施した。なお、ブロック会議に先立ち、9月17日にブロック内（岡山県）での大規模災害発生を想定した「緊急連絡シミュレーション」及び「多言語翻訳シミュレーション」を実施した。当財団は台湾語、モンゴル語の翻訳を担当した。

日時：平成27年11月6日（金）13:30～20:30

場所：広島市

内容：各団体の取り組み状況について報告及び意見交換

大規模広域災害時支援ネットワーク研修会「HUG（避難所運営ゲーム）」

（講師：静岡県地震防災センター インストラクター 片井 賢一氏）

ii) 地域連携等

○ 地域貢献

昨年度に引き続き、中学生の職場体験活動（2校）への協力及び湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフを通じて地域レベルの国際交流の推進と、ワールドマスターズゲーム誘致に向けて世界に生涯スポーツとしての魅力を発信するための「グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2015」の実施にあたり、翻訳や通訳（式典関係 5名、大会ボランティア通訳 8名）のコーディネート等大会運営に協力した。また、鳥取市・八頭町教育委員会事務局及び小中学校と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施した。

<中学生の職場体験活動・ワクワク湖東>

受入生徒：鳥取市立湖東中学校 2年生 4名

受入期間：2日（各日2名ずつ）

<中学生の職場体験活動・ワクワク高草>

受入生徒：鳥取市立高草中学校 2年生 4名

受入期間：2日（各日2名ずつ）

<グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YURIHAMA2015>

日時：平成27年11月1日（日）

場所：湯梨浜町潮風の丘とまり

参加者数：台湾 67名、中国（上海市及び河北省）60名、スペイン 4名、韓国 2名、
県内在住外国出身者 27名 計 160名

<外国にルーツをもつ児童生徒の日本語支援>

要請のあった小中学校（鳥取市 12校 22名、八頭町 1校 1名）に日本語支援員や教材をコーディネート

○ 外国人コミュニティとの連携

外国人コミュニティが自助自立し、県民を巻き込んだ多文化共生推進のパートナーとなることへの期待を込めて、「鳥取華人華僑会」が主催し鳥取県に在住する中国及び日本の児童を対象に実施した「青少年中国文化交流教室」を支援した。なお、この事業ほか同会の取り組みについては11月に開催した「多文化共生まちづくりフォーラム」でも報告した。

<青少年中国文化交流教室>

開催時期：第1期 平成27年4月5日～6月21日（全10回）

毎週日曜日 9:30～11:30

内容：中国語の初歩と歌・踊り・ゲームなどの中国文化を体験しながら交流

講師：鳥取大学中国人留学生ほか

受講者数：32名（中国人 28名、日本人 4名）

ウ 県民の国際理解推進

① ワールドアラカルトの実施

鳥取空港「空の日」のイベントにあわせて、幅広く来場される県民に対して財団ならではの国際色豊かな催しと文化体験の場を提供した。

日時：平成27年9月27日（日） フェスティバル来場者数 2,500人（H26 4,500人）

※27年3月から鳥取砂丘コナン空港として国際会館をリニューアルしたことに伴い、センタープラザイベントを縮小化。

内容：アフリカの布を使ったしおりづくりワークショップ、モンゴルの国旗パズル、民族衣装の試着と撮影

② 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施。出張型は、県内すべての小学校から募集を受け付け、応募があった30校すべての要請に応じ派遣した。

出張型（学校派遣）・9～12月にかけて順次開催

<東部>岩美南小学校、船岡小学校、神戸小学校、岩倉小学校、若葉台小学校、城北小学校、東郷小学校、末恒小学校、安部小学校、賀露小学校、中ノ郷小学校、津ノ井小学校、岩美西小学校、遷喬小学校、日進小学校 計15校

<中部>上北条小学校、浦安小学校、赤碕小学校、山守小学校、大栄小学校 計5校

<西部>福米東小学校、会見第二小学校、名和小学校、日吉津小学校、弓ヶ浜小学校、伯仙小学校、五千石小学校、黒坂小学校、八郷小学校、明道小学校 計10校

③ 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、県内三地区で国際交流フェスティバルを実施した。

<東部> 第27回タイムフェスティバル

平成27年11月23日（月・祝）11:00～15:30 とりぎん文化会館

主催：タイムフェスティバル実行委員会、財団

来場者数：1,500名

<中部> くらよし国際交流フェスティバル2015

平成27年12月6日（日）10:00～15:00 伯耆しあわせの郷

主催：くらよし国際交流フェスティバル実行委員会、財団

来場者数：800名

<西部> よなご国際交流フェスティバル

平成27年9月21日（月・祝）11:00～15:00 米子市文化ホール

主催：よなご国際交流フェスティバル実行委員会、米子市、財団

来場者数：約1,200名

※同フェスティバルは平成25年まで「ハローほうき国際交流フェスティバル」として実施されていたものを、実行委員会・米子市・財団主催のかたちでリニューアルして実施した。

④ 「話してみよう韓国語」鳥取大会の運営

鳥取県からの委託を受けて、鳥取県とつながりの深い韓国の文化を理解するために効果的な韓国語学習の支援と普及を目的として、成果を発表する場として鳥取大会を運営した。

日時：平成27年12月19日（土）13:00～17:45

場所：米子市文化ホール イベントホール・展示室

主催：韓国文化院、鳥取県

出場者：中高生スキット部門 10組20名、指定スキット部門 6組12名

創作スキット部門 3組6名

内容：各部門の発表、文化公演（「サムルノリ・モルゲ」による韓国伝統的芸能パンソ
リ及び現代舞台芸術サムルノリ）、表彰、交流会

来場者数：約170名

⑤ 多文化共生出前講座の実施

公的機関や民間団体などが主体となって実施される研修会等に、要請に応じて講師を派遣し、多文化共生社会の実現に向けて広く県民の意識啓発を図る出前講座を実施した。

	日時	会議名（場所）	内容及び講師名
①	平成27年5月30日 （土）10:40～11:30	鳥取市鹿野地域人権教育推進協議会研修会	「外国人の人権と多文化共生」 川口 斐斐氏（多文化交流教室日華ふれんず代表）
②	平成27年6月5日 （金）10:30～12:00	県立倉吉総合看護専門学校	「鳥取県で暮らす外国人の現状と支援について考える」 アパ 山田マアル氏（財団理事）
③	平成28年1月17日 （日）12:30～14:00	レディースあすか鳥取中部会員研修会	「パラグアイの女性の社会的役割や立場、男女共同参画社会～多文化共生社会に向けた意見交換」 アパ 山田マアル氏（財団理事）
④	平成28年2月18日 （木）14:40～15:30	鳥取県立鳥取商業高等学校商業科1年人権学習	「多文化共生社会を考える人権講演会」 川口 斐斐氏（多文化交流教室日華ふれんず代表） アパ 山田マアル氏（財団理事）

⑥ 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施

国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる相互交流を促進するため、同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験プログラム、ホームステイ、鳥取西高・鳥取湖陵高への訪問等を通じた交流事業を展開した。また、県内の高校生をバーモント州に派遣。派遣中は、ホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、学校生活体験、大学見学、環境に関する学習などを深めた。

<受入事業>

- 受入期間 平成27年4月19日（日）～27日（月）
- 受入人数 5名（生徒4名、引率1名）

<派遣事業>

- 派遣人数 16名（応募者総数36名）及び引率5名
鳥取西高1、鳥取東高1、鳥取湖陵高1、八頭高1、鳥取敬愛高1、鳥取城北1、青翔開智高1、鳥取中央育英高1、米子東高2、米子西高2、境高1、米子高1、米子北高1、米子工業高等専門学校1（男子5、女子11）
- 派遣期間 平成27年10月23日（金）～11月3日（火・祝）

⑦ 多文化共生のまちづくり推進事業（新規）（一般財団法人自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業助成事業」）

県内の在住外国人の定住化が進む中で、多様な文化を持つ人々が尊重し合いながら生活していくために、行政機関や民間団体等と連携しながら、より生活に近い地域住民同士として意見を交換し合うとともに、外国人コミュニティが県民に対して自らの文化を発信し理解につなげていく事例を報告する「多文化共生フォーラム」を財団設立25周年記念事業として県内三地区で実施することで、県民自らの問題として多文化共生について考え、行動するきっかけづくりとした。

「多文化共生まちづくりフォーラム」

<東部会場>

平成27年11月21日(土) 13:30~16:45 於 さざんか会館

基調講演：地域の未来とまちづくり～多文化共生社会がもたらすもの～

講師 田村 太郎氏(特定非営利活動法人多文化共生センター大阪代表理事)

座談会：「講師と地域に住む外国人と共に語り合しましょう」

基調講演に続いて、田村講師をアドバイザー、鳥取大学地域学部教授 仲野 誠氏を進行役に、3名の外国出身者(インドネシア出身 イニョマン・アドニャナさん 中国出身 胡 丹さん、フィリピン出身 寺坂ジーンさん)を話題提供者にフロアの参加者の皆さんと一緒に話し合った。

参加者数：70名

<中部会場>

平成28年1月24日(日) 於 伯耆しあわせの郷

パネルディスカッションと意見交換会

鳥取大学地域学部教授 仲野 誠氏をコーディネーターに、3名のパネリスト(ロシア出身 ラメンスカヤ・アナスタシアさん、アメリカ出身 末石 ロドニーさん、中国出身 鈴木 京花さん)からそれぞれの経験をお聞きしながら、これからの多文化共生のまちづくりについて意見を交換するパネルディスカッションを開催した。続いて、3名のパネリストと地域在住の外国出身者をゲストに、参加者が3つのグループに分かれ、テーブルにはパネリストの出身地の茶菓などを準備し、和気藹々とした雰囲気の中でパネルディスカッションの感想や意見を述べ合った。

参加者数：30名

<西部会場>

平成28年1月31日(日) 於 米子コンベンションセンター

パネルディスカッションと意見交換会

鳥取大学地域学部教授 仲野 誠氏をコーディネーターに、3名のパネリスト(フィリピン出身 岩佐ヴィヴィアンさん、中国出身 林 祖財さん、南アフリカ出身 マーティン・バーナードさん)からそれぞれの経験をお聞きしながら、これからの多文化共生のまちづくりについて意見を交換するパネルディスカッションを開催した。続いて、3名のパネリストと地域在住の外国出身者をゲストに、参加者が3つのグループに分かれ、テーブルにはパネリストの出身地の茶菓などを準備し、和気藹々とした雰囲気の中でパネルディスカッションの感想や意見を述べ合った。

参加者数：90名

エ 私費留学生奨学金の支給

① 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促した。

- ・鳥取大学6名(中国5、ミャンマー1)
- ・公立鳥取環境大学5名(中国5)

② 環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度

26年度に新設した、在県時に地域における国際交流活動への協力を通じて県民の国際

	<p>理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間の架け橋となり得る人材の育成を図ることを目的に月額2万円の奨学援助を行う「環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度」を引き続き運営した。27年度は従来の対象地域（韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県）に中国河北省とロシアハバロフスク地方を加え、より多くの留学生の活用を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 鳥取大学4名：中国河北省2名、韓国江原道出身1名、中国吉林省出身1名 (うち1名は8月末帰国のため5ヶ月支給) ・後期 鳥取大学4名：中国河北省出身3名、韓国江原道出身1名 <p>オ 交流拠点の運営</p> <p>全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所（鳥取市：鳥取県国際交流センターとして県より管理運営を受託）、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター内）を設置・運営。各拠点の情報提供機能を整備充実させるため、一般図書、日本語教材、視聴覚資料、海外新聞及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供したほか、毎月第二日曜日（14:00～16:00）に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営した。</p>
(2) 多文化共生推進	<p>ア コミュニケーション支援</p> <p>① 専門通訳ボランティアの派遣</p> <p>医療通訳ボランティア（要請に応え医療・保健機関等に派遣）及びコミュニティ通訳ボランティア（保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援）を、外国出身者や機関からの要請に応じて派遣した。なお、これらを専門通訳ボランティア派遣として一体的に運営することで、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行った。（登録者の技術の向上と活動意欲の維持のための研修プログラムは、イ 人材の育成 ①専門通訳ボランティア育成事業において実施。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数（H28.3月末現在） <p><u>医療通訳ボランティア</u> 英語 35 名、中国語 19 名、タガログ語 2 名、モンゴル語 1 名、韓国語 1 名 計 58 名</p> <p><u>コミュニティ通訳ボランティア</u> 英語 44 名、中国語 25 名、タガログ語 8 名、韓国語 2 名、ベトナム語 1 名、モンゴル語 1 名、スペイン語 1 名、ポルトガル語 1 名 計 83 名（複数言語登録あり）</p>

・平成27年度派遣実績 ※派遣実績の推移は附属明細書に別掲

	種別	東 部	中 部	西 部	計
英 語	医療	67件	15件	7件	89件
	コミュニティ	22件	16件	1件	39件
中 国 語	医療	56件	31件	11件	98件
	コミュニティ	1件	6件	8件	15件
タガログ語	医療	0件	8件	0件	8件
	コミュニティ	2件	3件	1件	6件
そ の 他	医療	0件	0件	1件	1件
	コミュニティ	4件	0件	0件	4件
計	医療	123件	54件	19件	196件
	コミュニティ	29件	25件	10件	64件

※その他はモンゴル語・ポルトガル語・ベトナム語

② 国際交流コーディネーターの配置

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらに三者通話機能も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。また、県民の語学のブラッシュアップのためのチャットや海外事情に関する情報提供、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師をつとめている。

<配置状況>

- 本所 英語対応 月曜日 11:30～16:30、金曜日 9:30～16:30
中国語対応 月・火・木・金曜日 9:00～17:00、水曜日 9:00～12:00
- 倉吉事務所 中国語対応 水曜日 13:00～17:00
- 米子事務所 中国語対応 火・木曜日 9:00～17:00

③ 日本語クラス等の運営（拡充）

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日または日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営した。27年度は、中部で従来の水曜日2クラスから日曜日にも新たなクラスを設け、水曜日1クラス・日曜日2クラスの計3クラスに拡充して実施した。また、クラスに参加しにくい人には、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応するプライベートレッスンを実施している。

日本語クラス

<東部> クラス講師17名、ボランティアパートナー34名で対応

形式：ゼロ・基礎①・基礎②・初級（会話・生活漢字）・中級・子ども日本語コースの6クラス（ただし、第3期は基礎①・初級・子どものみ）

期間：第1期 平成27年4月5日～8月9日の毎週日曜日（全19回）

第2期 平成27年9月6日～12月13日の毎週日曜日（全15回）

第3期 平成28年2月7日～3月20日（計7回）

場所：財団本所（ゼロ・基礎①）及び鳥取市高齢者福祉センター・さざんか会館（基礎

②・初級・中級・子ども日本語コース

受講者数：第1期 106名

第2期 144名

第3期 49名

<中部> クラス講師4名、ボランティアパートナー14名で対応

形式：水曜日 基礎 日曜日 基礎・応用、漢字 の3クラス

期間：第1期 平成27年4月15日～7月29日の毎週水曜日（全14回）

平成27年4月19日～7月26日の毎週日曜日（全13回）

第2期 平成27年9月2日～11月25日の毎週水曜日（全12回）

平成26年9月6日～11月29日の毎週日曜日（全11回）

場所：水曜日 県中部総合事務所別館相談室

日曜日 県立倉吉体育文化会館

受講者数：第1期 53名

第2期 41名

<西部> クラス講師7名、ボランティアパートナー28名で対応

形式：ステップA（入門）、ステップB（初級）、ゼロ初級の3クラス

期間：第1期 平成27年4月19日～8月9日の毎週日曜日（全15回）

第2期

ゼロ初級 平成27年8月19日～9月9日の水・日曜日（全7回）

ステップA・B 平成27年9月13日～平成28年2月7日（全17回）

場所：米子コンベンションセンター会議室ほか

受講者数：第1期 67名

第2期 80名

プライベートレッスン

東部 31組、中部 18組、西部 16組

④ 防災・災害時支援事業の実施

大規模災害時に災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除くため、外国人が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることで、いざというときに備える意識を高めるための「外国人のための防災セミナー」を開催した。スタディツアーでは、防災に取り組む地域住民との交流や施設見学も取り入れた。

<防災セミナー>

東部(1) 地域の防災やまちづくりの取り組みを知ろう！鹿野町訪問バスツアー

日時：平成27年7月5日（日）9:30～17:00

内容：鹿野町の住民主体の防災の取り組みや町並みの保存活動についてお話を聞くとともに、非常用の防災備蓄品保管庫の見学。下町地区の皆さんと一緒に県産の食材を使った昼食づくりや茶道体験、鹿野城下町並み散策

参加者数：54名

(2) JETオリエンテーションにおける防災セミナー

日時：平成27年8月14日（金）9:20～9:50

内容：地震が起こったらどうするか～DVD視聴、防災用品の展示・説明、非常食の試食

参加者数：28名

中部 防災フェスタ2015に行こう！

日時：平成27年10月3日（土）8:30～17:00

場所：イオンモール日吉津

内容：防災フェスタでの起震車・消火・煙・降雨体験、非常食試食など

参加者数：34名

西部(1) 原子力防災訓練（2県6市による島根原子力発電所対応原子力防災訓練に参加）

日時：平成27年10月25日（日）9:00～13:00

内容：安定ヨウ素剤服用説明、スクリーニング、防災研修

参加者数：9名

(2) 外国人と共に学ぶ防災セミナー

日時：平成27年11月8日（日）9:10～17:00

内容：鳥取県西部地震展示交流センター視察・講習、日南町多里地域振興セン

ターでの防災食デモンストレーションと餅づくり体験、多里神社祭り

参加

参加者数：35名

イ 人材の育成

① 専門通訳ボランティア育成事業の実施

言語及び医療の専門知識、対人援助能力など医療通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上を目指したフォローアップ講座、平日日中に活動可能な新規ボランティア登録者養成講座を開催した。また、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会の会場確保や講師の派遣費用を負担するなど側面的な支援を行った。

<専門通訳ボランティア養成講座>

日時：平成27年8月23日（日）13:00～16:30

場所：鳥取市福祉文化会館会議室

内容：「ボランティア養成講座・コミュニティ通訳」

公正な司法・安全な医療・学校教育・行政サービスへのアクセス権の保障としての通訳・翻訳者の役割等についての講義と通訳トレーニング

講師：水野真木子氏（金城学院大学文学部教授）

受講者数：40名

<医療通訳ボランティアフォローアップ講座>

日時：平成27年10月11日（日）13:30～17:00

場所：鳥取県立厚生病院

内容：① 厚生病院の概要と小児科について

講師 医療情報管理室副室長 山田 昇氏

小児科副医長 岡本 賢氏

② 病院内施設見学

③ 通訳技術、ロールプレイ

講師 シェリー・メガリー氏（マリナー英語サービス代表）

受講者数：17名

<コミュニティ通訳ボランティアフォローアップ講座>

日時：平成27年11月27日（金）14:00～16:30

場所：米子コンベンションセンター会議室

内容：外国人児童・生徒の編転入手続きについての講義と就学ガイダンスのロールプ

レイ

受講者数：12名

<自発的活動促進支援>

東部（英語）

	日時・場所	内 容	参加人数
1	平成27年4月24日（金）	鳥取空港国際 会館2階 特別待合室 13:15～15:00 （第3回のみ 財団内交流ス ペースで実 施） 講師 Goodine Gerald Ronald氏 （英語講師）	10名
2	平成27年5月29日（金）		7名
3	平成27年6月26日（金）		9名
4	平成27年7月24日（金）		12名
5	平成27年8月28日（金）		8名
6	平成27年9月25日（金）		10名
7	平成27年10月23日（金）		8名
8	平成27年11月27日（金）		7名
9	平成27年12月18日（金）		7名
10	平成28年1月22日（金）		8名
11	平成28年2月26日（金）		8名
12	平成28年3月18日（金）		6名

東部（中国語）

	日時・場所	内 容	参加者数
1	平成28年3月14日（月） 鳥取空港国際会館2階特別待合室 10:30～12:00	シナリオをもとに実際の派遣場面を 想定したロールプレイ 講師 三谷 洋美氏（看護師）	10名

中部（英語）

	日時・場所	内 容	参加者数
1	平成27年11月13日（金）	県中部総合事務 所別館相談室2 13:30～15:00 講師 シェリー・メガリー氏。 （英語講師）	8名
2	平成27年12月4日（金）		8名
3	平成28年1月8日（金）		7名
4	平成28年2月12日（金）		6名
5	平成28年3月4日（金）		10名

② 日本語講師・ボランティア養成講座の実施

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアのスキルアップを目的とする日本語講師養成講座・ボランティア研修会を開催した。

<日本語講師養成講座>

日時：平成28年2月20日（土）13:30～16:30（西部会場）

2月21日（日）13:30～16:30（東部会場）

場所：米子コンベンションセンター第4会議室（西部会場）

鳥取市高齢者福祉センター第3会議室（東部会場）

内容：「効果的な語彙支援のために私たちができること～語彙支援で日本語力を伸ばそう～」

地域の日本語教室ではどのような語彙をどのように教えるのが最も効果的か、

文型の積み上げだけでなく語彙練習のバリエーションや生活で使える語彙にするための工夫について学んだ。

講師：新野 佳子氏（公益社団法人国際日本語普及協会所属日本語教師）

受講者数：48名（西部会場31名、東部会場17名）

<ボランティア研修会>

東部会場

日時：平成28年3月5日（土）13:30～16:30

場所：さざんか会館第1会議室

内容：日本社会の多文化化と地域における日本語ボランティアの活動・形態についてお話を伺いながら、活動のための心構えやコミュニケーションの方法についてワークショップをまじえて学んだ。

講師：御館 久里恵氏（鳥取大学国際交流センター常勤講師）

受講者数：24名

中部会場

日時：平成27年8月29日（土）13:30～17:00

場所：伯耆しあわせの郷会議室

内容：「もし日本語を教えることになったら～これを知っていると役に立つ～」と題して、異なる背景の日本語学習者にとって「役に立つ日本語」とはどんな日本語か、それぞれの生活の中の場面・状況・話題でどのような日本語が必要かを学んだ。

講師：吉本 由美氏（広島国際学院大学総合教育センター講師）

受講者数：15名

西部会場

日時：平成27年8月30日（日）13:00～16:30

場所：米子市福祉保健総合センター（ふれあいの里）会議室

内容：「地域の日本語支援に必要な力」と題して、地域の日本語教室の役割をはじめ支援者としての心得や教室での活動とその支援方法、日本語でコミュニケーションする際のコツを実践型ワークショップで学んだ。

講師：吉本 由美氏（広島国際学院大学総合教育センター講師）

受講者数：28名

2 海外移住・海外技術協力支援事業

(1) 県費留学生・研修員等の受入

鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」または「海外技術研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、県から委託を受けて受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。

<鳥取県・江原道職員相互派遣研修生受入事業>

氏名	申 恩京 (シン・ウンギョン)
国籍	韓国 (江原道)
区分	鳥取県・江原道職員相互派遣研修生
研修期間	1年
研修科目	獣医・畜産分野等
研修機関	県畜産課ほか

<自治体職員協力交流事業>

氏名	崔 紅蓮 (サイ・コウレン)
国籍	中国 (吉林省)
区分	自治体職員協力交流研修員
研修期間	10ヶ月
研修科目	商工行政・国際行政・観光行政
研修機関	県商工労働部・観光交流局、鳥取市、境港市

<ブラジル交流促進事業>

氏名	レチツシア・アイミ・オハラ	アドリアーナ・ユミ・ミヤモト
国籍	ブラジル	ブラジル
区分	県費留学生	海外技術研修員
研修期間	8ヶ月	8ヶ月
研修科目	地域経済	広告
研修機関	鳥取大学地域学部	県元気づくり総本部・観光交流局、株式会社シセイ堂デザイン

3 山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業

(1) 山陰・夢みなと博覧会記念基金による助成

県民参加型の地域の国際化に資する民間団体主催事業を支援するため、すべての海外渡航費の3分の1 (ただし米子ソウル便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は3分の2) に他の助成対象経費の2分の1を加えた額、及びパスポート取得支援として1人あたり5千円を助成した。

また、県内の小・中・高等学校等が実施する海外教育旅行に対しても、一人あたり5,500円 (ただし米子ソウル便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は1万円上乗せ) の助成を行った。

民間国際交流・協力事業助成 19事業 (22,994,000円)
 海外教育旅行助成 8事業 (4,062,000円)

	<p>(2) 山陰・夢みなど博覧会記念基金による県民参加型多文化交流事業 公益財団法人鳥取県国際交流財団設立 25 周年記念事業 国際交流・多文化共生推進功労者表彰</p> <p>財団設立 25 周年記念事業「多文化共生フォーラム」の一環として、「公益財団法人鳥取県国際交流財団設立記念式典」を挙行し、これまで財団と歩みをともしながら地域の国際交流及び多文化共生推進に貢献された団体、個人を表彰した。</p> <p>日時：平成 27 年 1 月 21 日（土）13:30～14:00 場所：さざんか会館（鳥取市）大会議室</p> <p>①理事長表彰：25 年以上の永きにわたり国際交流及び多文化共生の活動を積極的に行うとともに、地域の国際交流の牽引役やネットワークの要となり、その功績が顕著であると認められる 4 団体に贈呈した。</p> <p>タイム（とっとり国際交流連絡会）[会長 ケイツ 佳壽子氏] 鳥取県西部地区日韓親善協会[会長 榊原 忍氏] 鳥取ブラジル会[会長 西原 昌彦氏] 米子国際交流協会[会長 中井 大造氏]</p> <p>②理事長感謝：専門通訳（医療・コミュニティ）ボランティアとして制度創設時（医療通訳：平成 21 年度～、コミュニティ通訳：平成 24 年度～）より登録し継続的に協力するなど、財団事業に多大な貢献を行い、その功績が顕著であると認められる個人 13 名に贈呈した。</p> <p>森田百合子さん、西土井京子さん、遠藤百合さん、横山裕実子さん、ケイツ佳壽子さん、吉田淑子さん、尾崎かおるさん、鈴木京花さん、門脇ビルジニアさん、松本真美さん、土井智子さん、和田史世さん、足立飛雪さん</p>
<p>4 法人管理 会議等開催状況</p>	<p><u>評議員会</u></p> <p>(1) 第 13 回評議員会 平成 27 年 5 月 29 日（金）11:00～12:00 とりぎん文化会館第 4 会議室 議決事項 第 1 号議案「議事録署名人の選出について」 第 2 号議案「平成 26 年度決算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認について」 第 3 号議案「評議員の選任について」 第 4 号議案「理事の選任について」 報告事項 ・平成 26 年度事業報告及びその附属明細書について ・公益財団法人鳥取県国際交流財団環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について</p> <p>(2) 第 14 回評議員会（決議の省略による） 平成 27 年 6 月 6 日 議決事項 第 1 号議案「評議員長の選任（大月 悦子氏）について」</p> <p>(3) 第 15 回評議員会（決議の省略による） 平成 27 年 9 月 1 日 議決事項 第 1 号議案「評議員の選任（吉村 文宏氏）について」</p>

第2号議案「理事の選任（清田 睦人氏、小田橋 昭仁氏）について」

(4) 第16回評議員会（報告の省略による）

平成28年3月31日

報告事項 平成28年度事業計画及び収支予算等について

理 事 会

(1) 第24回理事会

平成27年5月14日（木）14:30～16:15 とりぎん文化会館第4会議室

議決事項

第1号議案「平成26年度事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について」

第2号議案「定時評議員会の招集について」

第3号議案「公益財団法人鳥取県国際交流財団環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について」

(2) 第25回理事会（決議の省略による）

平成27年5月29日

議決事項

第1号議案「理事長及び副理事長（代表理事）、並びに常務理事（業務執行理事）の選定について」

(3) 第26回理事会（決議の省略による）

平成27年8月19日

議決事項

第1号議案「決議の省略による臨時評議員会の招集について」

(4) 第27回理事会

平成27年10月19日（月）14:00～15:30 とりぎん文化会館第4会議室

議決事項

第1号議案 平成27年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

第2号議案 山陰・夢みなと博覧会記念基金助成金交付要綱の変更について

第3号議案 特定個人情報の適切な取扱いに関する基本方針及び特定個人情報取扱規程の制定について

第4号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団就業規程の変更について

第5号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団設立25周年記念 国際交流・多文化共生推進功労者表彰規程の制定について

報告事項 平成27年度職務執行の状況について

(5) 第28回理事会

平成28年3月17日（木）14:00～15:15 とりぎん文化会館第4会議室

議決事項

第1号議案「平成27年度収支予算の補正について」

第2号議案「平成28年度事業計画及び収支予算等について」

第3号議案「臨時評議員会の招集について」

(6) 第29回理事会（決議の省略による）

平成28年3月31日

議決事項

第1号議案「事務局長の解任及び選任について」